

□要請番号 (JL02424A20)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	G153 音楽	20~45 歳のみ	個別	新規 2代目	2年	・2024/3・2025/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育スポーツ省

2) 配属機関名（日本語）

首都ビエンチャン教育スポーツ局体育芸術課

3) 任地（首都ビエンチャン） JICA事務所の所在地（首都ビエンチャン）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（徒歩で約0.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は首都ビエンチャンの学校において、体育や芸術(図工・音楽・ダンスなどを包括)の授業の監督やスポーツ大会などを企画・運営すると共に、教員に対する指導、教具・教材の支援などを実施する機関である。過去にはJOCV2名(体育)が、管轄地域内の小学校/中等学校での体育教育の普及や発展を目的に、2021年12月まで派遣されていた。また他国からの援助として、韓国よりピアノ(電子ピアノ:管轄地域内に計50台)が寄贈され、各校へ配置されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ラオスの学校のカリキュラムでは週に1時間「音楽」の授業が割り当てられており、通常の授業では楽器の演奏/歌唱/詩の朗読などが行われているが、特に音楽指導の上で重要である楽器演奏(ピアノ)について十分なスキルを持った教員は少なく、現場で効果的な授業を十分できていない状況である。教員は音楽の指導法について履修はしているが、効果的な授業実施には改善の余地が大きい一方、具体的に指導や助言ができる職員がないことから、その改善を期待されJOCVが要請された。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 対象地区の学校において、現地教師とチームティーチングでの授業を計画し実施(小学校1校、中等学校1校を予定)
- 音楽を指導する現地教員に対する指導法の助言
- 地区内で音楽を指導する教員に対し、ピアノの演奏技術向上への支援(個別指導、講習会の実施など)
- 可能であれば、他の楽器の演奏技術を同僚や生徒へ教授する(楽器は隊員が得意とするものを選択)
※隊員は配属先を拠点として、巡回先の小学校/中等学校の計3か所で活動する

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

電子ピアノ 3台(Young Chang製)、教科書など

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:6名(男性5名:50代2名、40代1名、30代1名、20代1名、女性1名:20代)

活動対象者:巡回先生徒 500名程度(7学年合計)、地区内音楽教員(最大で数十名程度)

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（中学校又は高等学校教諭（音楽））
（小学校教諭）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：同僚への指導のため

[汎用経験]：

- ・ピアノの指導経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（10～40°C位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.